

<スチュワードボランティア 当日の流れ>

スチュワードとは、審査中のジャッジの秘書です。

ショーに参加された方や、ショーの様子の写真などで、見かけた方も多いと思いますが、ジャッジの隣で、コメントカードの記入をしたり、電卓でスコアを計算している人たちのことです。

以前のブログでも紹介させていただきましたが、初めてスチュワードをされる方にもイメージしていただきやすいように、更に細かく紹介していきたいと思っております。

長くて申し訳ありませんが、読んでいただけると嬉しいです。

初めての方でも、わからない事がありましたら、事前にメールにてお問い合わせいただければ、担当者が連絡し説明させていただきます。

★早朝設営完了後、午前9時半頃までには、ボランティアミーティングを行いますので、アナウンスがありましたら、本部席前にご集合ください。その際に、初めての方には、レクチャーを行います。

★ショーが始まり、担当の審査の開始アナウンスが流れましたら、ご自分の使いやすい電卓（大きめで見やすいもの）と筆記用具（ボールペンか万年筆）をお持ちになり、それぞれのジャッジテーブルへ集合してください。

感染予防のため、エプロンをしていただき、ジャッジの隣に着席いただきます。

★まずはじめに、各ジャッジシートに、後日 AFA に送付するため、スチュワードの氏名を英語でサインしてください。

★実際に、審査が始まりましたら、ジャッジシートとオーナー様にお渡しするコメントカードにジャッジのコメントを日本語で結構ですので、順次、記入していただきます。

同時に、審査項目ごとにスコアを出しますので、それを電卓で合計し、間違いのないことを確認して、ジャッジシートとオーナー様にお渡しするコメントカードに記入していただきます。

細かい流れは以下の通りです。

- ①ジャッジがフェレットを連れてきてエントリーナンバーを言うので、コメントカードにエントリーナンバーを記入。
- ②ジャッジシートにフェレットの年齢が記載されているので、エントリーナンバーを確認して年齢をジャッジに伝える。
- ③ジャッジがフェレットのカラーを言うので、エントリーナンバーの下あたりにカラーを記載する。
- ④ジャッジごとのやり方でコメントと点数を言うので、間違いのないように記載していく。

スチュワードの仕方は、ジャッジによって、多少異なります。

①～③の順番は多少入れ替わることもあります。

各ジャッジの流れを記載しますので、ご自分が担当するジャッジの所を良くお読みください。

・吉本ジャッジ

点数をつけてからコメントを言います。ヘッドからカラーまでの合計でボディプロポーションの点数を決め、ディスプレイポジションまでの合計でジャッジインプレッションを決めます。

検算は基本的に全部のジャッジが終わってから 1~3 位のみやってもらいます。

また、ジャッジインプレッションを決める段階で、思っていた点数と違う場合は、再計算をお願いすることがあります。

・秋山ジャッジ、青木ジャッジ

コメントを先に全て言って、後から点数をつけていきます。

ジャッジシートとコメントカードを同時進行でできるだけ書いてもらい、後から計算して一緒に合計点の確認をします。

ジャッジインプレッション前までで、一度集計し、その後、ジャッジインプレッションの点数を出して、最後に合計します。その後、検算です。

ベスト10に入りそうな場合、同点がないか確認します。

・石田ジャッジ

コメントによって加点、減点を決めているので、各項目ごとにコメントと点数をつけます。

ボディプロポーションは計算で出しますが、それは自分でやります。

基本、ジャッジシートとコメントカードのコメントは同じでよいので、並行して書いてもらって大丈夫です。

合計点数を出したら、上位で同点がないか確認してもらいます。

・村山ジャッジ

ジャッジシート最優先で進めてます。

先に点数を付けていき、その時にコメントも記入して計算も同時進行で行います。

項目によってはOとOの平均点を出してプラマイ0,1と点数付ける項目もありますので、電卓フル活動です。

最終的な点数が自分の思い描いた点数と合えばそのままですが、違った場合は項目ごとに点数を確認して修正します。すべて終わったら再計算していただきます。

スチュワードさんが計算してる間に審査終わったフェレットを戻して、これとこれをコメントカードへ記入して下さいと指示を出して、記入してる間に消毒、記入し終わったらコメントカードを置きに行きながら次の審査の子を連れて来てます。

・吉野ジャッジ

審査項目ごとにコメントと点数を言います。

ジャッジインプレッション前までで一度集計し、その後、ジャッジインプレッションの点数を出して、最後に合計します。その後、検算です。

暴れる子や危険な子の場合は、コメントを先に全部言って、その後、点数をつけます。

・半田ジャッジ

コメントと点数を言って、カードとシートに書いてもらい、待ってる間に次の項目のジャッジを行っています。又、電卓に項目が終る度に、点数を加算してもらい、都度、合計を確認しながら進行しています。

(注) わからないことなどがあれば、その都度、担当ジャッジに聞いてください。

1クラス、エントリーの頭数にもよりますが、大体1～2時間ほどかけて審査が行われますので、その間、上記の作業をしていただきます。

★審査終了後、点数、順位の確認をジャッジの補助として一緒に行っていただきます。

順位が確定したら、トップ10に入ったフェレットのエントリーナンバーと点数を入賞者リストの表に書き込みます。

その表を見ながら、間違いのないように、ロゼッタの順位も確認しながら、ロゼッタの裏に入賞者のエントリーナンバーを書いてください。

(ジャッジが行う場合もあるので、担当ジャッジに確認ください。)

ここで、スチュワードの仕事は終わりになります。

長時間のボランティアになりますが、よろしくお願いいたします。

その他、注意点になります。

※万が一、ボランティアの最中に、ご自分のフェレットがエントリーや表彰式などで呼び出された場合は、ジャッジにその旨をお話しいただき、途中退座することが可能です。
遠慮なくお申し出ください。

※スチュワードの際に知りえた事柄につきましては、公平性を保つため、非公開になります。

決して口外はされませんようお願いいたします。

特にネット上での会話にもお気を付けください。

※ジャッジ内容、審査についての質問などされた場合、決して、個人的に返答しないでください。
「審査に関わる疑義はすべての審査終了後に文章にて受け付けます。」とお伝えし、
ジャッジへは質問があった事を伝えてください。

※万が一、フェレットに触れた場合は、ジャッジ同様、手やエプロンの消毒をしてください。

特に糞尿に触れた場合は、厳重に消毒します。

エプロンの汚れが取れなかったり、破損した場合は、かならず取り替えてください。

※お手数ですが、スコアの合計を出していただきますので、当日は、ご自分の使いやすい電卓(大きめで見やすいもの)とボールペンをお持ちください。

多くの方にお手伝いいただけると、一人一人の負担も軽くなり、時間の拘束も少なくなります。
皆様のご協力あってのスムーズなショー進行となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。